

## 1. 研究の対象

2015年4月1日～2017年3月31日の期間に防衛医科大学校病院に入院となった頭部外傷患者さん

## 2. 研究目的・方法

頭部外傷症例の、年齢・性別・受傷機転・診断・治療方法・患者転帰の疫学的検討を行い、これらの結果を社会に発信することで頭部外傷の予防に役立てます。これまでも「プロジェクト1998」、「プロジェクト2004」、「プロジェクト2009」の3度の研究が実施され、シートベルトやヘルメットの着用による頭部外傷の減少などに貢献しています。また治療方法の効果についての検討も行い、その結果は日本脳神経外傷学会から発刊される「重症頭部外傷治療・管理のガイドライン」改訂時の資料に用いられます。

日本頭部外傷データバンク検討委員会（日本脳神経外傷学会）に参加している全国32施設で行われます。2015年4月1日～2017年3月31日の期間に参加施設に入院となった頭部外傷患者さんの日常診療のデータを集積し解析します。診療後に診療記録を元に医学的事象について検討するものなので、患者さんの診断や治療にはまったく影響いたしません。また作業にあたって、患者さんの年齢、性別、診断などの医学的情報は必要ですが、患者さんの氏名、生年月日など、個人の特定に繋がる情報は一切不要です。データの解析結果について医学会などで公表し検討する場合でも、患者さんのプライバシーが侵されることはありません。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、受傷機転、診断、治療方法、患者転帰等

## 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

主管：山口大学医学部（鈴木倫保）

共同研究施設：札幌医科大学（三國信啓）、青森県立中央病院（佐々木達也）、仙台市立病院（亀山元信）、国立病院機構信州上田医療センター（酒井圭一）、防衛医科大学校病

院（戸村哲）、千葉県救急医療センター（宮田昭宏）、千葉大学医学部（村井尚之）、君津中央病院（海老原幸一）、東京慈恵会医科大学付属柏病院（卯津羅雅彦）、昭和大学医学部（土肥謙二）、帝京大学医学部（坂本哲也）、日本医科大学付属病院（横田裕行）、日本大学医学部（前田剛）、国立病院機構災害医療センター（高里良男）、武蔵野赤十字病院（戸根修）、横浜市立大学付属市民総合医療センター（濱田幸一）、聖マリアンナ医科大学（大塩恒太郎）、東海大学医学部（松前光紀）、東邦大学医療センター大橋病院（中山晴雄）、日本医科大学多摩永山病院（畝本恭子）、東京医科歯科大学（稲次基希）、名古屋市立大学医学部（間瀬光人）、済生会滋賀県病院（塩見直人）、京都九条病院（榎原毅彦）、奈良県立医科大学（朴永銖）、大阪府三島救命救急センター（小畑仁司）、香川大学医学部（黒田泰弘）、飯塚病院（山田哲久）、久留米大学医学部（宮城知也）、福岡大学病院（井上亨）、熊本赤十字病院（三浦正毅）（以上全国32施設）

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校病院 救急部・脳神経外科  
防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門  
戸村 哲 （主任研究者）

〒359-8513

埼玉県所沢市並木3-2

04-2995-1633 平日9:00~17:00

日本脳神経外傷学会ホームページ：<http://www.neurotraumatology.jp>

研究代表者：

山口大学医学部脳神経外科 鈴木 倫保